

研究機関：広島大学

研究課題名	矯正歯科治療患者を対象としたエナメル質脱灰状態の検証とカリエスリスク検査導入の有効性に関する実態調査
研究責任者名	医歯薬保健学研究科 歯科矯正学 教授 谷本幸太郎
研究期間	平成 23 年 10 月 12 日～平成 36 年 8 月 31 日
対象者	平成 22 年 8 月～平成 23 年 8 月までに広島大学病院矯正歯科を受診した年齢 6 ～ 50 歳の患者 100 人および平成 23 年 10 月 12 日～平成 35 年 8 月までに広島大学病院矯正歯科を受診する年齢 6 ～50 歳の患者 300 名とします。
意義・目的	矯正患者のエナメル質脱灰状態の検査および唾液を用いたカリエスリスク検査の継続的な評価を行うこと、また、矯正治療中のう蝕発生との関連性を調査することを目的とした臨床調査です。
方法	矯正治療前、治療中および終了後に行ったエナメル質の検査、唾液中のう蝕活動検査の結果を診療録より使用します。また、X線写真、口腔内写真によるエナメル質脱灰状態の評価を行います。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	広島大学内のみの研究になります。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 谷本幸太郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5686 所属 病院矯正歯科 職名 講師 氏名 國松 亮